※令和３年度以前入学生用

学校番号	3021

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書道Ⅰ」（東京書籍）						
副教材等	高校硬筆の練習（教育出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・　書写の授業で学んだことを発展させ、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学び、自分なりの表現方法で作品を制作し、それぞれの表現に対する理解を深めていく。
・　楷書から篆隷行草に至るまで様々な書体を体験し、筆の特性を使いこなし、自己表現としての作品を書くことが出来るようになることをめざす。
・　身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てる。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	書写から書道へ	1　書写と芸術科書道 2　用具・用材 3　姿勢・執筆法	○	○	○	○	a:書写と書道の類似点・相違点について興味を持ち、今後の学習に意 欲的に取り組もうとしている。 b:用具・用材の特徴を踏まえ、表現の工夫を考えている。 c:姿勢や執筆法の基本を身に付け表現に応じた姿勢・執筆 法を選択しようとしている。 d:正しく整った文字のよさや美しさを感じ取り、用具用材と基本的な姿勢・執筆法が果たす役割を幅広く理解している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※令和３年度以前入学生用

5 6 7	漢 字 の 書	1　楷書 ・楷書の成立と変遷 ・楷書の用筆法と 結構法 ・臨書と鑑賞	○	○	○	○	a:中国の文字と書の伝統と文化について関心を持ち、そのよさや美しさを感じ取ろうとしている。漢字の書体の変遷に関心を持ち、意欲的・主体的に理解しようとしている。楷書の基礎・基本を身に付け技法の向上に努めている。 b:古典の持つ伝統的な美を甘受し、臨書の意味や表現方法を理解し、表現を構想し工夫している。古典の臨書・鑑賞を通して楷書の美とその表現方法を学び、普遍性のある表現方法を工夫している。 c:臨書の意味や表現方法を理解し、楷書の基礎・基本的な 点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。 d:鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、基礎・基本的な楷書のよさや美しさを感じ取っている。楷書の伝統と文化について幅広く理解している。	提出作品 ワークシート ポートフォリオ 観察

※令和３年度以前入学生用

8 9	漢字の書	・ペン字 （夏期休業中の課題） 2　行書 ・行書の特徴 ・臨書と鑑賞 3　草書 ・臨書と鑑賞 4　隷書 ・臨書と鑑賞 5　篆書 ・臨書と鑑賞	○	○	○	○	a:各書体の基礎・基本を身に付け、書写能力の向上に努めている。さらに古典の臨書・鑑賞を通じてその書体の美とその技法に関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b:古典の臨書・鑑賞を通して各書体の美とその基礎基本的な表現方法を学び普遍性のある表現を工夫している。 c:各書体の基礎･基本的な点画や線質の表し方と用筆･運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。 d:日常生活の硬筆の書の効用 について理解し、そのよさを味 わっている。 d:鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、基礎・基本的な各書体の良さや美しさを感じ取っている。各書体の伝統と文化について幅広く理解している。	提出作品 ワークシート ポートフォリオ 観察
10	篆刻 姓名印作り	・自分の名前の漢字調べ　（各書体） ・名前の１文字白文印の制作	○	○	○		a:名前の漢字の各書体を調べて、書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:篆刻における分間布白を理解し、印稿の表現を工夫している。 c:運刀に関する知識や技法を理解し、効果的な表現の技能を身に付けている。	提出作品 ワークシート ポートフォリオ 観察

※令和３年度以前入学生用

11	漢字の創作学習	・八つ切り４文字創作作品 ・古典の学習を通して学んだことを生かし、自ら選んだ語句や文字を創作する。	○	○	○	○	a:題材の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:書体の特徴を理解し、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 提出作品 ワークシート ポートフォリオ
12	漢字かな交じりの書	・表現 いろいろな線 ・線質 ・用具用材 ・紙面構成 ・古典の基づく創作	○	○	○	○	a:線質、漢字と仮名の調和、用具用材や紙面構成と表現との関係に関心を持ち、意欲的･主体的に表現を高めようとしている。 b:用具・用材の特性を生かし、線質が漢字と仮名の調和を図る重要な要素であることを理解し、表現を工夫している。 c:用具･用材の特性を生かした表現効果を理解し､漢字と仮名の調和を図る技能を身に付け表している｡芸術的な表現や実用的な表現を理解している。 d:多様な線質の表現、線質の調和による美、紙面構成による表現の違いなどを理解し書の良さや美を感じ取っている。日本及び中国の文字と書の伝統と文化について幅広く理解している。	観察 提出作品 ワークシート ポートフォリオ

※令和３年度以前入学生用

1 2	仮名の書	・仮名の成立や仮名文字の推移について理解する。 ・いろはの単体 ・連綿 ・「高野切第三種」仮名の単体から連綿まで練習し特徴を理解し、表現する。古筆の特徴をとらえ、流麗な平安朝の仮名の美を理解する。	○	○	○	○	a:漢字の伝来から仮名の成立に至る過程で段階的に発生した仮名の種類を理解している。 b:仮名の単体から連綿まで、仮名独特の線質や流れを理解し、それを表現するための用筆や運筆を理解している。 c:「高野切第三種」の書風や特徴を理解し、それを表現するための用筆や運筆の技能を身に付けて表現している。 d:「高野切第三種」の特徴をとらえ、流麗な平安朝の仮名の美を理解し味わっている。	提出作品 ワークシート ポートフォリオ

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。